

最優秀賞（農林水産大臣賞）

ソーシャルデザイン部門 | 技術・研究分野 | 試作品

コンセプトカー SETSUNA / 愛知県

トヨタ自動車株式会社（愛知）

概要

「SETSUNA」のコンセプトである「歳月を経て変わることを愛でる」を木を用いて具現化。木は手を掛けいたわることで色や風合いが変わり、愛情を注ぎ幾世代も受け継ぐことで、その家族だけのクルマへと変化する。外板には杉を使うなど用途に応じた木材を選定、組付けは日本古来の伝統技法である「送り蟻」などを採用。

【概要サイト】

<http://newsroom.toyota.co.jp/en/detail/11315933>

<http://newsroom.toyota.co.jp/en/detail/11538726>

評価ポイント

コンセプトの表現として、外板は杉、フレームには樺といった用途に応じた木材の選定をし、一つ一つのパーツの大小や配列にもこだわった。組み付け構造には釘やネジを使用しない日本古来の伝統技法である送り蟻などを取り入れ、ボディラインは船のような美しいカーブを描く。さらに、世代を超えて時を刻む100年メーターや、機能美と木の優しい色合いが融合したシートなど、歳月を経て輝きを増す。

自動車づくりの専門性と木材利用の専門性が協働した優れたプロジェクトであり、多様な業種、分野において、消費者目線で木材を積極的に活用するという明確な目的を満たしており、ウッドデザイン賞の主旨に最もふさわしい。こうした先導的な役割を担う取組が、医療・福祉機器をはじめとする他の業種・業態へ木材利用を波及させるための模範例となりうる。



技術・研究分野 | 新たな製造・加工の技術
優秀賞(林野庁長官賞)

優秀賞3

Roll Press Wood / 山形県

株式会社天童木工(山形)

概要

建築材としても使われなくなり、家具材としても敬遠されている国産材。その木材を活用し、優れた機能・デザインの家具にする世界初の技術が『Roll Press Wood』です。最先端技術と天童木工のコア技術である成形合板を組み合わせて、日本各地で眠るスギやヒノキを美しく丈夫で長持ちする家具へと作り上げます。

【閲覧・入手方法】専用パンフレットをご用意しております。
【技術提供の方法】当社の営業担当がお客様のご要望をお聞きし、御見積をさせていただきます。御見積よりご発注をいただき、この技術による製造期間を経て、完成した製品をお届け致します。また、この技術を導入したいのご要望があれば、機械設備や技術のサポートも行っております。
【概要サイト】<http://www.tendo-mokko.co.jp/tendo-for-rest/>

評価ポイント 木材の耐久性を高める素材開発方法として、新規性が高い。プレスでつぶす方法に比べ、連続的に加工できるため、新しい用途開発につながる点は木材利用の可能性を高める意義ある提案と言える。



建材・部材分野 | 構造材
優秀賞(林野庁長官賞)

優秀賞1

J-パネル / 鳥取県

協同組合レングス(鳥取)

概要

CLTと同じ構成で、国産杉スギの挽き板の繊維方向を平行に幅はぎ接着した板を、繊維方向を互いに直交させて3層3プライに積層接着したパネル。CLTパネル工法に用いられるいわゆる大版のCLTとは違い、J-パネルは木造軸組工法に使用する最小版最薄のCLTのため、人の手で持ち運ぶことが可能であり、施工性が良い。

【サイズ】910×1,820×36 mm
【重量】24,000g
【価格】15,000 円
【入手先】協同組合レングス
【概要サイト】<http://www.length.or.jp/>

評価ポイント 国産材のスギ・ヒノキを100%原料とした直交集成板で薄型のCLTでは唯一の先駆的モデルである点を評価した。用途は木造軸組工法における床・天井・壁・軒裏などの仕上げ材を兼ねた構造用面材や造付け家具など幅広く、地域材の利用拡大に貢献している。



建築・空間分野 | 店舗・商業施設
優秀賞(林野庁長官賞)

優秀賞4

日本橋とやま館

「富山らしさを表現する木づかい」 / 東京都

富山県(富山)、株式会社乃村工芸社(東京)

概要

豊かな森林資源をもつ日本において、木を使った工業製品は多種多様である。しかし、直接ゼロから創る製品にはデザイナーとしての強い想いが込められる。富山の木から富山の価値を生み出すプロセスを通じて、地域に貢献するという強い責任感と愛着が生まれた。地域や人との交流が生み出した富山らしさの木づかいである。
【連絡先】株式会社乃村工芸社
【概要サイト】<http://toyamakan.jp/>

評価ポイント 富山県のアンテナショップであり、産地に眠っていた原木、製材品、加工品などさまざまな工程段階の木材を現地で選定、調達しデザインしている。巨大な立山連峰をイメージした木格子壁はインパクトがある。ナラ虫食い材の利用やクリ・ナラなどの異種材の幅はぎ材をテーブル天板に使うなど素材と加工のバリエーションが空間を引き立たせている。地域の魅力発信と地域材の利活用が高次元に融合した空間に仕上がっている。



技術・研究分野 | 新たな工法・素材活用の技術
優秀賞(林野庁長官賞)

優秀賞2

耐震補強技術 T-FoRest / 大阪府

株式会社竹中工務店(大阪)

概要

エンジニアリングウッドの高強度性や加工性、軽量可搬性を活かした木質系耐震補強システムで、CLT・LVLは接着剤、集成材プレースはバネの力を利用して固定することから、従来のような振動や騒音がほとんどなく、また、工期を短縮することで建築主や建物利用者にとって安全・安心で負担の少ない耐震改修工法となります。

【概要サイト】竹中工務店ホームページ
http://www.takenaka.co.jp/enviro/es_report/pdf/2016/p17_18.pdf
<http://www.takenaka.co.jp/news/2014/12/02/index.html>
<http://www.takenaka.co.jp/news/2015/10/04/index.html>

評価ポイント 木造を木で補強する事例は多数存在するが、RC造建築物を木で補強する例は新規性がある。耐震補強はとくに機能性重視に偏りがちで、外観が不格好になりがちなか、デザイン的によくなっている。



建築・空間分野 | 戸建・注文住宅
優秀賞(林野庁長官賞)

優秀賞7

堀切の家 / 東京都

桜設計集団一級建築士事務所(東京)、櫻井登志子、藤原恵子、鯨組(東京)

評価ポイント 木造密集市街地(準防火地域)に建つ木造2階建て住宅で、材をあらわしにしながらも地震や火事に負けない設計上の配慮を随所に施している点は社会提案性に優れる。都市部で木造建築物を計画する際のすべてのソリューションを網羅しているお手本のような物件である。材をあらわしにした建物外観や外構は、街にやすらぎを与えることにもつながっている。

概要

東京都心の木造密集市街地(準防火地域)に建つ木造階建て住宅。木材をあらわしにしながらも、地震や火事に負けない設計上の配慮をしている。1. 地産都消の実践(つくる)2. 技術・性能の裏付けを持つ(つかう)3. 耐久性確保とメンテナンスの容易性(つなぐ)
【連絡先】桜設計集団 <http://www.teamsakura.jp>
【概要サイト】
<http://www.teamsakura.jp/build/works/lightbox2/2-8.html>



建築・空間分野 | 病院・福祉施設
優秀賞(林野庁長官賞)

優秀賞5

新柏クリニック / 千葉県

医療法人社団中郷会 新柏クリニック(千葉)、株式会社竹中工務店(東京)

評価ポイント 人工透析治療のための病院施設である。人間の心身に好影響を及ぼす木が本来、医療施設に使われることが理想的だが、衛生面やメンテナンス面、コスト面で敬遠されてきた。こうした分野での木造建築は大きな意義がある。屋外の眺望と一体化した、美しい木質空間は患者の心に安らぎを与えてくれる。木質化環境の癒し効果の研究と論文発表、近隣や医療関係者の見学受け入れなどの活動も評価に値する。

概要

透析治療を行う方々の負担感を軽減し、心身の健康につながる最良の医療施設を目指して、木の癒し効果に着目した”森林浴のできるクリニック”づくりに取り組みました。本物の国産木材の利用にこだわり、さらに新しい耐火技術の導入により都市部において木造・木質化された医療施設を実現しました。
【連絡先】株式会社竹中工務店
【概要サイト】医療法人社団中郷会 新柏クリニック
<http://shinkashiwa.jp/>



建築・空間分野 | 集合住宅
優秀賞(林野庁長官賞)

優秀賞8

平成28年熊本地震における
木造応急仮設住宅の供給 / 熊本県

公益社団法人日本建築士会連合会(熊本)、一般社団法人木と住まい研究協会(東京)

評価ポイント 応急仮設の木造住宅として、普段手に入るもの、地元でつくれるものというコンセプトが素晴らしく、その仕組みと活動実績を高く評価した。有事の際ゆえ、3週間という短工期で完成できる点も重要である。災害国・日本における被災地対応と地域材・地域資源の活用との両立という点において、社会性の高い取組であることを評価した。

概要

(公社)日本建築士会連合会と(一社)木と住まい研究協会とは、被災された方々が安らぎある生活を早く送れるよう、熊本県産の木材を多用した応急仮設住宅を企画し熊本県に提案した。地元の事業者を斡旋して建設し、材料調達や施工などで地元事業者が一丸となって連携し、宇城市で60戸の応急仮設住宅を木造で建設した。
【連絡先】一般社団法人木と住まい研究協会 <http://www.mjkk.or.jp/>



技術・研究分野 | 試作品
優秀賞(林野庁長官賞)

優秀賞6

産学官連携「病院木質化プロジェクト」 / 北海道

株式会社ハルキ(北海道)、札幌市立大学看護学部(北海道)、北海道渡島総合振興局産業振興部林務課(北海道)、パワープレイス株式会社(東京)、株式会社セントラルユニ(東京)、株式会社アイ・ビー・エス(北海道)

評価ポイント 木の癒し効果や精神安定効果は病院施設にとって有用なものであり、高齢化を迎える社会背景からもそのニーズは高い。本作品の新規性は改築を必要とせず、ユニットで提供できる点にあり、一般の病院での普及促進の可能性を持っている。導入後のエビデンスの収集にも期待する。

概要

普段、なかなか交わる事のない産学官が連携し、現状「真っ白ツルピカ」な病室空間に地域材を活用するため、今までにないウッドインフィル「病室ユニット」を開発・試作。合わせてウイルスや細菌、アルコール消毒等に対する木材への影響を調査し、地域材の需要消費拡大・付加価値向上・ブランド化を目指します。
【閲覧・入手方法】地方独立行政法人 北海道立総合研究機構林産試験場内
【連絡先】株式会社ハルキ 企画・開発室
【概要サイト】http://mori-haruki.co.jp/news_topics/705



コミュニケーション分野 | ビジネスモデル
 優秀賞(林野庁長官賞)

優秀賞9

大工と組む わが家再生／愛知県

株式会社新和建設(愛知)

評価ポイント 地域特性と100年を超える民家再生、大工のノウハウ導入といった多様な側面を持つ取組である。ストック住宅は社会的課題であり、木造民家をストック化させず、暮らしの質の向上と地域材の利活用を両立させる社会提案性の高さが光る。

概要

つくり手技術集団が住まい手をエスコートする安心のわが家再生を実現。技術を持つ大工と、地域の優れた木材、システム化された工程・品質管理により均一化した品質で、計画的に木造民家を再生できるビジネスモデルである。また木造民家の多い地元でこの仕組みを实践することで、近年の空き家問題も未然に防ぐ仕組みである。

【体験・入手方法】

大工と組むわが家再生イベントへの参加
 木香の森り・HOME館(愛知県北名古屋市鹿田合田240)の体験見学
 恵木の杜り・HOME館(岐阜県可児市下恵土2993-1)の体験見学
 リフォーム専門の体験型モデルハウス岐阜営業所(リフォーム専門の体験型モデルハウス)の体験見学

【費用】なし 【概要サイト】<http://www.sinwanet.co.jp/rehome/>



コミュニケーション分野 | 仕組み・ネットワーク(生産-加工-流通-販売をつなぐもの) | 奨励賞 奨励賞1

「木とくらす」～はたらく、まなぶ～／東京都

株式会社内田洋行(東京)、株式会社良品計画(東京)、有限会社サンケイ(宮崎)、パワープレイス株式会社(東京)

概要

感じ良い「働く場」や「学ぶ場」を実現する新しい取組みです。建築用木材としての認識しなかった杉材を、宮崎の生産者との根気強い取組みにより、杉本来の持つ特性を生かしたオフィス家具として製品化し、新しい価値と市場を生み出すことに成功しました。国産杉の使用用途を拡大し、持続可能な社会の実現に貢献します。

【体験・入手方法】(株)内田洋行の販売店もしくは、(株)良品計画法人窓口にて購入可能。

【費用】展示会等のイベントに関して、参加費・入場料等は無料

【概要サイト】http://ryohin-keikaku.jp/news/2016_0407.html

<http://www.uchida.co.jp/company/news/press/160407.html>

<http://office.uchida.co.jp/products/wood/>

評価ポイント 「働く場」や「学ぶ場」を実現する新しいオフィス向けの『日本の木でできた家具』である。杉の特性を生かしたオフィス家具として製品化し、新しい価値と市場を生み出すことに果敢にチャレンジしている。極力、産地に財源が残る生産システムを採用し、過度な加工を施すことなく、天然素材の持つ感じ良さをオフィス空間に提案・導入している点もよい。



建築・空間分野 | 公共施設 | 奨励賞

奨励賞2

えちごトキめきリゾート雪月花／新潟県

ICHIBANSEN / nextstations(東京)、えちごトキめき鉄道株式会社(新潟)、株式会社天童木工(山形)、株式会社ビッグワイル(徳島)、新潟トランス株式会社(新潟)、株式会社ニックス(東京)

概要

えちごトキめきリゾート雪月花は新潟県に導入された観光列車。2両編成定員45名という小さな列車だが、妙高山や日本海などの絶景を楽しんで頂けるよう、車内エリアごとに杉、樺、檜などを使い分けた。日本最大級の側窓や世界で唯一の前面展望を専有できる個室も備え、五感で楽しめる唯一無二の旅を提供する。

【連絡先】えちごトキめき鉄道株式会社 えちごトキめきリゾート雪月花予約センター

<http://www.echigo-tokimeki.co.jp/setsugekka/>

【概要サイト】<http://www.ichibansen.com/#!blank-1/c11fu>

評価ポイント 新潟県西部に導入された観光列車車内の内壁は新潟県産越後杉などを使用し、すべての座席やテーブルは国産木材を使用している。車内のエリアごとに杉、樺、檜などの樹種を使い分け、豪奢ではないが日常的な寛げる空間づくりに成功している。今後、見込まれるインバウンド観光客への対応といった点においても期待ができる。



木製品分野 | 雑貨・日用品 | 奨励賞

奨励賞3

augmenter／静岡県

有限会社豊岡クラフト(静岡)

概要

桜の木を使ったバックを展開するaugmenter(ウォグモンティ)。楽器や家具製造の木工技術を生かした0.1mm単位の加工技術を持つ「豊岡クラフト」(浜松市)が制作しました。豊岡クラフトの技術と伝統の遠州織物がコラボした木製バックはそれぞれの情熱とプライドが交差しています。

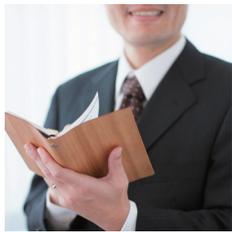
【サイズ】300×18×330mm

【重量】400g

【価格】16,000円

【入手先】有限会社豊岡クラフト

評価ポイント 国産材桜を用いたクラッチバッグ・ハンドバッグで、デザイン性が高い。日常的に女性が使える使い勝手の良さや、和装両方にフィットしそうな意匠性は好感が持てる。組木の技術を用い、地元の遠州織物とコラボレーションしている点も高評価。



木製品分野 | 文具 | 奨励賞

奨励賞4

iLignosシステム手帳／愛知県
名古屋木材株式会社(愛知)

概要

木製のシステム手帳です。曲がる木材をカバーに用い、開閉時も無理なく曲がります。軽量であり携帯しやすくなっています。曲がる木材は独自の圧縮加工を施しており、その加工には化学薬品を一切使用していないため、木材本来の質感や風合い、温もりが味わえます。

【サイズ】115×25×185mm

【重量】75g

【価格】12,960円

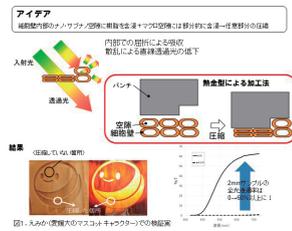
【入手先】メイモク・リグノ オンラインショップ <http://www.ligno-shop.jp/>

Makuake ECサイト <https://www.makuake.com/project/meimoku/shopping/>

【概要サイト】<http://ligno.shop-pro.jp/?pid=103731311>

評価ポイント 木製のシステム手帳で暮らしを彩る木づかいの提案として良質なデザインである。特殊な圧縮加工を施しており、柔軟性を備えた曲がる木材(吉野杉)をカバーに用いて、その柔らかさに驚く。「曲がる木」という新たな展開による木材の可能性を模索した点に今後の期待が持てる。

(圧縮していない箇所)



技術・研究分野 | 新たな製造・加工の技術 | 奨励賞

奨励賞5

任意部位の光透過性を向上させた木材／愛媛県
愛媛大学農学部森林資源学コース森林資源利用システム研究室
杉元宏行(愛媛)

概要

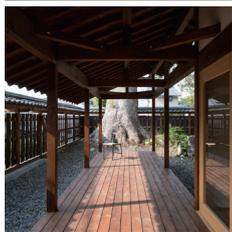
任意部位のみ光透過性を向上させる加工技術を開発した。これにより、人間との高い親和性のある木材の意匠はそのままに、より洗練された意匠を付与することが可能となった。用途として、LEDやセンサーの配置によって、照明やスイッチングの機能を木材に与えることが可能となり、車両や家電、建築に利用できる。

【閲覧・入手方法】当該研究室にて閲覧可

【概要サイト】<http://www.s-tlo.co.jp/club/markets/patent/open/detail.php?seq=41&categorys=1073741824>

https://shingi.jst.go.jp/past_abst/abst/p/14/1470/cic-tokyo_b1.pdf

評価ポイント 木材の圧密化を制御し、光の乱反射を発生させる新規性の高い研究である。金型による製造が可能のため、普及しやすい点も有効である。インテリアや自動車の内装、遊具玩具などへの展開の可能性を感じさせる。



建築・空間分野 | リノベーション | 奨励賞

奨励賞6

大和棟と大和塀のある古民家／奈良県
末吉高明、株式会社貴志環境企画室(大阪)、唐内工務店(大阪)

概要

大和棟を持つ江戸時代から残る古民家の改修事例である。明治期以降の度々にわたる増築の結果起きた雨漏りや敷地内の大木の根が建物を持ち上げ石垣を押し出そうとしていたことへの解決策として、大木付近の増築部分を減築して外部化することで建物の安全性を確保し、木を眺められる広い縁側と焼杉の大和塀を新設した。

【連絡先・概要サイト】http://www.mkishi.com/works/renovation_conversion/Japanese-traditional-house-in-Gose.html

<http://nara-kenchikushikai.or.jp/design/design.html>

評価ポイント 古民家のリノベーションの提案である。大和棟、大和塀と呼ばれるこの地域特有の形式の継承と、極力国産材、特に奈良県産材を利用しており、改めて日本建築の良さ、美しさを伝えている。隣接する寺院や近隣の民家と一体になって美しい景観が保全されたことも意義深い。



木製品分野 | 家具 | 奨励賞

kids furniture / 岐阜県

飛騨産業株式会社 (岐阜)

概要

近年「木育」の活動普及が著しいなか、弊社の「曲げ」「圧縮」技術を生かして、国産材を活用した子ども家具の開発を行いました。木材の魅力を伝えながら、子どもに安全でやさしいデザインを目指しました。人間工学の観点から年齢ごとに最適なサイズを導き出し、大人にとっても扱いやすく配慮された構造です。

【サイズ】325×320×485mm

【重量】2,400g

【価格】32,000円

【入手先】飛騨の家具館(東京、名古屋、大阪、福岡、仙台、高山) <https://kitutuki.co.jp/showroom>

【概要サイト】<https://kitutuki.co.jp/products/standard-collection>

評価ポイント 自宅や幼稚園、保育園、パブリックスペースなどの空間での使用を想定した小椅子。杉の無垢材だが、軽量かつしっかりとした強度を兼ね備え、丸みを帯びたデザインが独特の柔らかさを演出している。「圧縮」「曲げ」など本格的な木工技術を生かし、曲面やスタッキング可能な形状を実現しており、日本の針葉樹利用のソリューションの一つと言える。

木製品分野 | 家具 | 奨励賞

日本の木と技が創る超軽量家具 / 東京都

株式会社 KOMA (東京)

概要

広葉樹の強度と粘度、針葉樹の軽量、柔らかい温もりなどそれぞれの特性を活かしたハイブリッドです。全ての部材の形状や角度、組手の細部まで意味を持たせた工夫を凝らし快適性、耐久性、超軽量を実現しています。高機能でありながら1mmでも1gでも無駄を無くす日本の美意識「削ぎ落としの美」を追求しました。

【サイズ】400×490×730mm

【重量】1,900g

【価格】150,000円

【入手先】自社shop、自社web site、都内百貨店(新宿伊勢丹、日本橋三越、銀座三越ほか)

【概要サイト】<http://koma-shop.jp/product/entry/post-13/>

評価ポイント 富山県産のイタヤカエドと南三陸杉を利用した超軽量家具であり、熟練職人の手仕上げにより、極限まで無駄を削ぎ落とすシャープさと柔らかな温かみが調和したデザインが目を引く。実際に座った時の安定感も良い。FSC認証材の利用にも取り組んでいる。



木製品分野 | 照明器具 | 奨励賞

雪洞 / 長野県

有限会社 柳澤木工所 (長野)

概要

松本のランプ職人、飯野歌之助さんがデザインした金属製の電気スタンドのシェードを吊り下げ式照明にしました。元々がランプシェードということもあり和洋いずれにも違和感がありません。製造当初から変わらない拭き漆を模した色と、白い和紙のコントラストは和みをもたらす「用の美」と言えます。

【サイズ】500×500×300mm

【重量】1,500g

【価格】75,600円

【入手先、概要サイト】<http://www.mokko.co.jp>

評価ポイント 長野県産の栓を使ったペンダントライトだが、懐かしさの中にも古民家カフェなど現代のライフスタイルへもマッチする魅力があるデザインになっている。木はプラスチックに比べて経年による劣化が少なく、和紙を張替えることにより永く使用できる点も良い。



木製品分野 | 大型遊具 | 奨励賞

奨励賞10

「くむんだー」木のジャングルジム／滋賀県
川村克己(滋賀)

概要

子供たちと一緒に「コンコンカンカン」組み立てては解体する、みんなでつくる木のジャングルジム。対象は3歳から小学3年程度。父兄と一緒に遊びを通じて木の良さを感じ、柱と貫を楔で止めていく行為により、木槌のコンコンと打つ、心地よい響き、杉の持つ肌触り、木目・香り・重さ(軽さ)を、体で感じてもらいます。

【サイズ】2,000×2,000×2,000mm

【重量】8,000g

【価格】270,000円

【入手先】(株)長谷川林材、(株)丸松木材

【概要サイト】<http://www.kikorikko.com/>

評価ポイント 子供たちと一緒に組む組み立てることができる木のジャングルジム。父兄と一緒に、大規模な遊具を自分の手で組み立てるという、創造と遊びを通じて木の良さを感じることができる。知らない子ども同士がコミュニケーションし、遊んだ後のあとかたづけも共同で行なうという気持ちも自然に生まれる木育玩具になっている。



建築・空間分野 | オフィス・会議施設 | 奨励賞

奨励賞11

住まいと暮らしサロン／埼玉県

株式会社アキュラホーム(東京)、株式会社ホルツストラ(東京)、
河野泰治アトリエ(東京)、株式会社篠原商店(埼玉)

概要

人々が集う空間は限りなく優しいものであるべきだと思う。

その最適な材料である木を全面的に使用した中規模木造建築。

これまで特殊なものであったこのセグメントで一般的な材料と技術で建築を可能にし、更に従来の同等以下の建築コストを実現している。

【連絡先】株式会社アキュラホーム

評価ポイント 木造軸組み工法を用い、一般流通材と一般加工・施工技術で建てた日本初の中規模3階建て木造建築であり、空間は美しく仕上がっており、新規性も高い。地域に解放するイベント空間としても活用されており、木材利用の可能性を普及啓発する点でも意義がある。非住宅建築への木造参入を推し進めるチャレンジ的な取組である。



木製品分野 | 設備 | 奨励賞

奨励賞12

信州型 木製遮音壁／長野県

長野県産材販路開拓協議会(長野)

概要

長野県に豊富にあるカラマツ材の有効利用を考え、「木が使えるところにあたりまえに木を使いたい」という熱い想いから木製遮音壁を開発しました。

設置は高速道路にとどまらず、住宅街や工業団地、近年話題にもなっている保育園の騒音問題など、幅広い分野での活用が期待できます。

【サイズ】3,960×90×500mm

【重量】100,000g

【価格】35,000円

【入手先】長野県産材販路開拓協議会 <http://naganowood.com>
mizumoku@seagreen.ocn.ne.jp

評価ポイント 長野県のスギ・カラマツを使った木製遮音壁で、性能・強度は中日本高速道路(株)の遮音壁設計要領に準拠している。高速道路にとどまらず、住宅街や工業団地、近年話題にもなっている保育園の騒音問題など、幅広い分野での活用が期待できる。土木工事に国産木材利用が促進できる方法として遮音壁は有効なアプローチである。



技術・研究分野 | 木材利用の環境や社会性を高める調査・研究 | 奨励賞 奨励賞13

授産施設で生産するデザイン性の高い木製品の開発／北海道
 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場(北海道)、
 札幌市立大学デザイン学部(北海道)、社会福祉法人 当麻かたるへの森(北海道)

概要

大学・授産施設・公設研究機関の連携で、障がい者が生産に携わることができる、デザイン性の高い木製品を開発しました。見た目の楽しさや実用性を重視した製品デザインは学生が行い、研究機関で安全・効率的な加工方法を構築しました。材料は主に地域で産出した木材を使い、生産から販売まで全てを授産施設で行っています。

【閲覧・入手方法】『当麻くるみなの木遊館』にて販売 <http://town.tohma.hokkaido.jp/about-tohma/sisetuannnai/bunka-shisetu/741/>

【概要サイト】北海道立総合研究機構 林産試験場 <http://www.hro.or.jp/fpri.html>

評価ポイント 障がい者の仕事づくりと地域材の有効活用を目的とした、ストーリー性のある取組である。製品の付加価値化のためデザインによるアプローチを取り入れ、さらに木材の効率的な加工方法や安全に作業できる環境・工程にも取り組んだ。専門分野の連携による社会提案性あるプロジェクトである。



コミュニケーション分野 | イベント・ワークショップ(単発) | 奨励賞 奨励賞14

組手什協議会による熊本震災支援／熊本県

組手什おかげまわし協議会(愛知)、あいちの木で家を作る会(愛知)、賀露おやじの会(鳥取)、福島県古殿町(福島)、登米町森林組合(宮城)、日本の森バイオマスネットワーク(宮城)

概要

各地の森林から間伐小径材、製材端材より組手什が生産されている。今回の災害支援に向けて、生産地8カ所から集荷された。被災地では、森林ボランティアにより届いた当日に配布、組み立てられて避難所へ提供された。さらに避難所の組手什は、仮設住宅へと使い回されつつある。組手什は最長、1,600kmの旅をした。

【体験・入手方法】組手什おかげまわし協議会

【実績】組手什 5,400本、270万円相当の寄贈

【概要サイト】<http://9de10tohkai.web.fc2.com/saigai2016.html>

評価ポイント 産地協働による被災地支援の取組だが、全国8カ所の地域をまたいでの実践はハードルが高いと予想されるが、見事に実現した。組手什そのものは各地域材で生産されるが、形状等は標準化されており、各地域ものが混在しての活用が可能である。短期間で多くの資材を集めることができ、被災地支援と地域材活用の両輪を回す良質な作品である。



コミュニケーション分野 | イベント・ワークショップ(継続) | 奨励賞 奨励賞15

ヤブクグリ／大分県

ヤブクグリ(大分)、寶屋(大分)、株式会社トライ・ウッド(大分)、マルゲン株式会社(大分)

概要

さあ、森へ出かけよう!ヤブクグリは、この国の森のことが気になって、何かをしなればと思い立った人たちの集まり。理由はないけど、なぜか何かできそうな予感に覆われている。森を見れば、山を想うことになる。山を想えば、川を知るようになる。ヤブクグリは森に目線を合わせながら、暮らし全体のカタチを考えていく。

【体験・入手方法】ヤブクグリ(日田市観光協会内 担当:黒木) (大分県日田市元町11-3)

【費用】年会費5,000円、日田きこりめし880円、三隈川かっぱめし880円、「日田」創刊準備号ヤブクグリ300円、「日田」創刊準備号ヤブクグリ2号300円、「日田」創刊準備号ヤブクグリ3号300円、木都日田案内200円

【概要サイト】<http://yabukuguri.com/>

評価ポイント 林業、木材関連事業からデザイナー、大工、編集者など多彩な専門家の協働によって、多くの人に関われる「木」をテーマにしたコミュニティのプラットフォームになっている。木製の弁当箱だけでなくメニュー開発から携わるという点は重要で、地域資源を面的に訴求する有効な方法である。